

TAKE FREE
2022.07



photo: Ken Ohki

とやまごころ

—日本橋とやま館たより—

あなたの知らない富山が誇る
ヒト・モノ・コトの魅力が見つかるフリーマガジン



NIHONBASHI
TOYAMA

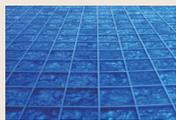
富山とガラスのつながり

「ガラスの街とやま」の由来は、300年以上の歴史をもつ「富山の薬」。明治・大正時代にはガラスの薬瓶の製造が盛んに行われ、戦前は富山駅界隈を中心に溶解炉を持つガラス工場が10社以上も存在していたそう。多くのガラス職人がいたことから、市民の間にも工芸として広まり、実用品だけでなく文化芸術としても定着した歴史を持っています。



富山で感じるガラスのスポット

北陸新幹線富山駅に到着し改札を出ると、ガラスブロック約800枚を埋め込んだ「フロアシャンデリア」がお出迎え。ガラスの街を実感することができます。富山市の中心部に位置する「富山市ガラス美術館」は、世界のグラスアートを展示する市内で一番人気の観光スポット。また、ガラス作家の活動拠点である「富山ガラス工房」、作家の育成や市民の文化交流の場として、一般向けにも様々なワークショップやイベントを開催しています。ギャラリーやショップも併設されているので、ぜひ訪れてみてください。



[表紙の紹介]「富山ガラス工房」にて

ガラスは熱してから冷えるまでが時間との戦い。同じ材料、同じような道具を使っても出来る作品が違うことも印象的。作家は普段の生活にインスピレーションを得ていると言い、富山の環境の良さが作品のバリエーションを生んでいるのでは？という印象を持ちました。(フォトグラファー:大木賢)



富山市 ガラス美術館

世界的な建築家隈研吾氏が設計を手がけたファサードが特徴的な複合施設「TOYAMAキラリ」内にある富山市ガラス美術館。美術館のシンボルにもなっている、現代ガラス美術の巨匠デイル・チフリー氏のインスタレーション作品をはじめ、国内外の現代ガラス芸術作品を展示しており、ガラスの常識を塗り替える作品に出会えます。7月16日からは企画展「コーニング・ガラス美術館共同企画「New Glass Now」を開催。



薬瓶から世界が
認めるアートまで、
「富山ガラス」の奥深い魅力

豊かな自然と文化に育まれてきた素材やモノづくりの伝統の技と心から生み出された県産品を数多く持つ富山県。中でも特に高い品質や信頼性、オリジナリティを持つ品は「富山県推奨とやまブランド」として認定。今回紹介する「富山ガラス」もそのひとつです。ルーツには薬瓶の製造があり、工房やアート作品を展示する美術館があり、国内きってのガラスの街なのです。

日本橋とやま館

営業時間

ショップフロア 10:30~19:30
和食レストラン 11:30~14:30
17:00~22:30(日・祝~21:00)
バーラウンジ 11:00~21:00
年中無休(年末年始、ビル施設点検日等を除く)

営業時間やイベント内容については変更となる場合があります。最新の情報については、日本橋とやま館の公式サイト等でご確認ください。

〒103-0022 東京都中央区日本橋室町1-2-6
日本橋大栄ビル1階

ショップフロア(物販) 03-3516-3020
和食レストラン「富山はま作」03-3516-3011
その他(イベント等) 03-6262-2723

電車でのアクセス

東京メトロ
銀座線・半蔵門線「三越前」駅: B5出口より徒歩すぐ
銀座線・東西線「日本橋」駅: B9出口より徒歩3分
都営地下鉄
浅草線「日本橋」駅: B9出口より徒歩3分

JR

総武本線「新日本橋」駅より徒歩8分
「東京」駅より徒歩8分

バスでのアクセス

メトロリンク日本橋(無料巡回バス)
「地下鉄三越前」駅下車 徒歩1分
※東京駅八重洲口「第二鉄鋼ビル」よりご利用いただけます。

公式サイト



公式サイト更新中!
さまざまな情報を発信しています。

日本橋とやま館

公式SNS更新中!

